



ブラシがけは意外に効果的

外出から戻ったら、ブラシがけして汚れを落とし
ておいて下さい。

チリやホコリなど、ブラシがけで簡単に落ちるもの
は、落としておいた方が、衣服の寿命が伸びるの
です。



外出から戻ってのブラシがけは、気持ちの問題だ
と思っはいませんか。衣服に付いたフケやホコリ
は、長時間放置しておく、シミや汚れ、クスマの
原因になります。毎日のブラシがけを習慣づけてお
けば、衣服の寿命が伸びます。

よいブラシは、生地を傷めず、静電気を起こさな
いもの、また、目に見えないホコリも取れるもの
を選びましょう。この意味からは、毛足の長いブタ毛
などのブラシが適当です。よいブラシを1本持つと
日々の手入れも楽しいものになるでしょう。

絵画の中の洗濯風景

洗い張り



歌川 国安 (1794年-1832年)

絹や綿の生地は、水洗いするとほとんどの場合縮
んでしまいます。このため、洗い張りでは、縫い合
わされたきものをほどこいて反物の状態に戻し、「解
き洗い」という方法で洗います。このままでは、や
はり縮んでしまいますので、「洗い」の後の仕上げ
工程として「張り」という作業を行います。反物の
両端を引き上げて伸ばし、竹ひごの両端を針状に
した伸子(しんし)という道具を横幅の縮みを張るた
めに数百本もアーチ状に刺します(伸子張り)。浮
世絵のように宙に浮かせて「張り」を行うのは絹な
ど的高级呉服に使用される技法で、綿や麻などの素
材には、平滑な板に張り付けて引き伸ばす「板張り」
という方法がとられていました。

HomeDry News

ホームドライニュース No.113



- 絵画の中の洗濯風景: 洗い張り
- なるほど納得! 衣生活の知恵:
ブラシがけは意外に効果的
- 繊維と服飾の物語:
秋冬トレンド-知っておきたい素材の知識

繊維と服飾の物語



23～4秋冬トレンド

知っておきたい素材の知識

ファッション専門紙による23～24年秋冬の素材トレンドとしてシャギー、ビンテージ加工、ダブルフェイス、キラキラ素材などが取り上げています。

ファッション製品には、樹脂や金属などが使用されたさまざまな加工が施されています。

消費者としても、多様な加工について知っておきたいものです。

●シャギー～冬を代表するヘアー素材



シャギー (shaggy) とは、英語で「毛むくじゃら」「毛羽立った」という意味です。毛足が長く、もじやもじやと毛羽立った厚地の織物の総称として用いられますが、多くの場合は経糸 (たていと) にモヘアやアルパカ、アンゴラなどの獣毛を使ったループヤーンのルー (輪) 部分をカットして毛羽立たせた「ループカットシャギー」という製法で作られます。

ショルダーバッグなどで摩擦を受けやすい肩やウエスト部分に糸抜けが無いか確認しましょう。

●ビンテージ加工～着古したような色や風合い



ビンテージ加工の手法は、薬品や摩擦など多様な方法があります。色落ちや日焼け、毛羽立ち、くたっとした風合いといった、長年使い込まれたからこそ出る古着独特の味わいを作り出します。例えば、顔料でプリントした後、洗い加工などで生地表面に付着した色の粒子を落とすことで、色あせや色ムラ、擦れて色落ちしたようなアタリを表すことができます。

顔料によるプリントは、摩擦によって剥がれたりひび割れたりする性質があります。また、機械や薬品によるビンテージ (ダメージ) 加工製品は、生地自体にすでに多少のダメージを受けていますのでダメージが拡大しないように配慮が必要です。

●リバー仕立て～表と裏が異なる素材の生地

ここ数年、リバー仕立て (2枚の布を縫い合わせて1枚の生地とする製法) のコートの需要が高まっています。生地2枚分の厚みと暖かさがあるため、秋冬物のコートとして人気があります。

リバーコートに使われる素材は、ダブルフェイスとも呼ばれ、表と裏が異なる色・柄・素材を持つ1枚の織物や編み物を意味します。

ダブルフェイスには、2種類の異なる生地を接着

剤で貼り合わせたボンディング加工もあります。樹脂が湿気などによって加水分解という劣化が進んでいると、接着樹脂が溶解して染み出したり剥がれたりすることがあります。



●キラキラ素材～輝きをまもって気分上げる

23～24年秋冬のレディスウェアは、キラキラと光る素材を使ったアイテムが目立ちます。

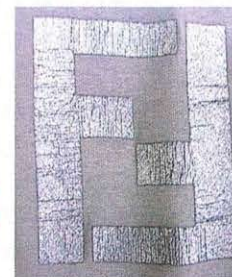
ビーズプリント: 厚手のシルクスクリーンを使用して、盛り上がった樹脂接着剤の層を作り、そこにガラスビーズなどを埋め込むものです。



グリッタープリント: グリッターとはキラキラ光るものということで、いわゆるラメです。金属だけに限らず合成樹脂やパール粉などといった光る素材の粉末を接着樹脂にまぜ込んでプリントします。



箔プリント (転写箔) 加工: 箔プリントは、まず加工する原反に樹脂接着剤をプリントし、箔を転写して熱乾燥で固着させます。



キラキラ素材の多くは接着剤が使用されているので、摩擦による損傷にご注意ください。